

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

1月11日

第2聖日

第3386号

「聖書的な教会建設」

聖
言

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにおいて、天にあるすべての靈的祝福をもって私たち祝福してくださいように。エペソ1:2

礼拝の恵み 第九章 第七部 礼拝の仕方
三節 礼拝は知的であるべきである。
神は無知を重んじたまわらない。聖書の目的の一つは、神が言う必要のある事柄に関して信者を「賢く」すること、そして信者に礼拝に関する信者の特権と責任とについて適当な理解を与えることである。礼拝における霊性と真実性とは、それゆえに、この重要な主題について神が啓示されていることがらに関する知的な理解をとまわなければならぬ。パウロは、その手紙のなかで「次のことを知ってもらいたいです。」(コリント一〇ノ一、一二ノ一、ロコリント一ノ八、一テサロニケ四ノ一三、ローマ一ノ一三、一ノ二五) 信者が知らずにいてもらいたくない、と、パウロの言う事柄がどんな題目であるかを調べるのは、興味深いためにもなる。
今日のキリスト教界における最大の傾向は一つは恐らく、無数の無知なクリスチャンが自分たちの神聖きわまる信仰の根本的な真理を、ほとんど、あるいは全くしらずにいるらしいということであろう。彼らは自分の代わりに他人に考えさせ、何を信じるべきか、何を信じるべきでないかを、自分の代わりに他人に決めさせることで、すっかり満足しているらしい。このことはことに礼拝の場合にそうである。礼拝がなんであるかについての無知は、この礼拝という特別の木テクノために召集された集まりの席上でしばしば耳にする、礼拝についてのぼんやりした表現によって立証されている。思考と表現とのこの混乱の原因は、神はこの主題について何と言われているかを黙想し、発見し、読むことを信者各自怠っていることである。(A pギブス「礼拝」より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp